

「令和7年度 市民トーク」開催結果（細江地区）

以下のとおり結果を報告します。

1 日時等

- (1) 日 時 7月7日（月） 午後7時00分～午後8時30分
- (2) 会 場 細江コミュニティセンター
- (3) 内 容 市長からの市政報告・地区からの質問
- (4) 参加人数 45人

2 市長からの市政報告

当日の配布資料を添付

3 地区からの質問

別紙のとおり ※事前質問は回答書を配布・当日の会場での質問あり

4 当日の様子



令和7年度 市民トーク（細江地区）質問・要望一覧

日時：令和7年7月7日（月）
19時～20時30分

場所：細江コミュニティセンター

番号	事 項 名	担当部課
1	河川等の清掃について	建設課
2	細江小学校の跡地利用について	企画政策部

※この他、提出いただきましたご質問につきましては、後日地区を通して回答いたします。

令和 7 年度 市民トーク

細江地区（7/7 開催）

質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	1 河川等の清掃について
内 容	沢垂川や中槍川、浜田川等の河川の整備は予算の都合上、一斉に整備改修を行うことは難しいと理解できますが、今後数年にわたる整備計画をお示してください。 細江区では、河川の清掃を地域の力を借りてやっていますが高齢化が進み、今後今までのようにはいかないと思います。 市の事業としてやってもらえないか。 また、ここ数年、異常気象などにより想定以上の雨が降ります。その影響で低地への浸水や道路の冠水の被害が起こります。水路や側溝などの簡単な清掃（砂や落ち葉除去）は行われていますが、ここ数十年と側溝の清掃はしていません。 市の事業としてやらない、やれない理由があるのでしょうか。 【担当：建設課】
回 答	今後の河川の整備計画についてであります。沢垂川の河川改修に令和 2 年度から着手し、令和 18 年度の完成を目標として整備を進めております。浜田川及び中槍川の改修については、沢垂川の改修の完了時期を見据えて事業着手時期等について検討を進めていきますので、現時点でお示しできる状況にはありません。 道路及び河川愛護運動については、その地域にお住まいの皆様が実施する除草、枝木の伐採、側溝清掃などによる美化活動です。市が管理する道路や河川の延長も長いことから、地域の協力を得ながら管理しているのが実情であり、毎年、地域の皆様に活動いただき感謝しております。 ご質問をいただきました河川や道路側溝清掃で高齢化が進み作業が困難な現場については、具体的な場所や実施内容等を確認させていただいたうえで、作業が困難な箇所については、極力市で実施するようにしていきたいと考えております。

令和 7 年度 市民トーク

細江地区（7/7 開催）

質問事項・説明を希望する市政内容

件 名	2 細江小学校の跡地利用について
内 容	市内義務教育学校の開設に向けた準備が進む中、細江小学校を含む跡地利用が課題になります。令和 5 年度に市民ワークショップが開催され、市民の意見が出され公開されました。また、その後追加意見募集が行われ、細江小学校関連では 10 件の意見が出されましたが公表されていません。その後、市当局での検討がされていると思われませんが、今日にいたるまで何ら情報発信されていません。市民にとって関心の高いことであるので、逐次の情報提供と意思決定への地元住民の参画が重要と思われます。 現時点での検討状況と今後の予定について教えてください。 【担当：企画政策部】
回 答	学校跡地利活用検討状況につきましては、令和 7 年 2 月 6 日に開催されました行政連絡会において情報提供を行い、その内容は、班組回覧を通じて周知させていただきました。また、同日には市ホームページにも掲載し、周知を図ったところです。 現時点の検討状況、今後のスケジュールについては、先ほどご説明させていただいた通りでございます。 市ホームページにも引き続き掲載してございますので、詳細は、そちらをご覧くださいと思います。 なお、追加でお寄せいただいたご意見につきましても、踏まえて検討をしております。 ご意見のとおり、逐次の情報提供と地域のみなさんの参画は重要であると認識しております。今後も、検討の進捗に応じて情報提供を行うとともに、来年度には、大まかな方向性の案をお示しし、地域のみなさんのご意見を伺う機会を設ける予定です。

	引き続き、地域の皆さまのお考えを伺いながら検討を進めてまいりますのでよろしくお願いいたします。
--	---

「市民トーク（細江地区）」の当日参加者による質問

※会場での質疑応答を要約してあります。

追加質問 1 市民トークについて

市民トークは、市民の意見や考えを述べる場所ではないのか。

市長が政策について説明するのは市民トークとは合わないと思う。

細江区から 37 件出している質問に対して市民トークの中でなるべく多くの時間をその回答に割いてほしい。

後日文書で回答と言っているが、全細江区民へ出して周知するのか。

【回答者（大石秘書広報課長）】

回答については、回覧という形で回答させていただく。

【質問者】

全質問に対して回答してもらえるのか。

【回答者（大石秘書広報課長）】

はい。

追加質問 2 学校再編について

市が小中一貫の 9 年制の学校を 2 校に統合するという方針を、市民の合意を得て決めたと説明をしているが、実際には細江区の青池町内会では一度も話が出ていない。他の後原や道上といった周辺の地区にも全然説明がなく、結局は細江区の一部の幹部だけで決めてしまったように見える。細江小学校はもともと明治の初めに細江村の人たちが自分たちでお金を出し合って建てた学校で、地元にとっては大事な存在。それを勝手に統合してなくしてしまうのは納得できない。しかも、細江小学校の現状にどんな問題があるのか、統合しなければならないはっきりした理由は示されておらず、統合すればメリットがあるという話ばかりが強調されている。だから本当に統合が必要なのか、大きな疑問がある。

【回答者（市長）】

学校の再編については自分が平成 29 年に市長になってから 2 年間、市民の皆さんと一緒にどういう教育環境が望ましいかという協議を重ねてきた。その中で小中一貫の学校に再編するという方向性が答申として出されて、市としてもそれに沿って進めてきた。細江小学校については、もう 50 年 60 年経って老朽化していて、補修や建て替えが必要だが、それを市内の 12 校全部でやるのは財政的に厳しい。そのため再編という形で対応する。それから、市民参加については限られた人だけではなく、参加したい人は誰でも自由に加われる形で意見交換をしてきた。

【質問者】

オープン参加と言っても、実際には市が自分たちの考えに賛同してくれそうな人を集めているのではないか。アンケートにしても、1,400 件配って 700 件の回答があった中で“知っている”と答えた人が 66%いたというだけで、賛成とは書いてない。中には自分のように反対の人もあるはずだ。

跡地利用については、以前空き家対策委員会に参加していた経験から、学校を統合すれば残りの校舎は大きな空き家になる。それなのに市が空き家対策をやりながら、自分で空き家を作るのは矛盾している。細江小学校は残したい。今の状況で良い教育ができていないとは思えない。

【回答者（市長）】

市民トークのため、質問者とのトークではない。マイクをずっと握っていると、他の人たちが何も言えない。

【質問者】

他の質問があるようなら答えてほしい。

私は以上で終わる。

追加質問 3 避難場所について

子どもは小学校に避難できても市民はどこに避難すればいいのか。学校を避難所として利用できるのかどうかを明確にしてほしい。また通学路の安全性にも心配がある。息子や孫の世代のためにも、市民が安心して避難できる場所を整えてほしい。

【回答者（市長）】

津波対策については平成 26 年度から避難タワーや避難ビル、命山、それから裏山に駆け上がるための避難路などを整備してきていて、今は学校施設も避難先として使う計画になっている。跡地利用についても、地域みなさんと話し合いながら、大多数が納得できる形で進めたい。想定されている L2 クラスの津波は 1000 年から 2000 年に一度の規模で、防潮堤だけでは守り切れないため、保育園や学校、市役所や病院といった公共施設は、できる限り浸水区域の外に整備していきたい。細江小学校は津波の浸水区域には入っていないため、安全な場所にあり、避難場所としても十分考えられる。今後はそうした意見も踏まえて、細江区の人たちともしっかり話し合っていきたい。